

松嶋夜話 卷之下 35

〔原文〕隣寺老素偶餉百合數魁也

〔訓読〕隣寺の老素、偶たま百合數魁を餉す

〔原文〕余笑曰

〔訓読〕余笑いて曰く

〔原文〕百合俗曰山藷

〔訓読〕百合は俗に山藷と曰ふ

〔原文〕又治百合病故名

〔訓読〕又た百合の病を治す、故に名く

〔原文〕百合白花可藥服

〔訓読〕百合の白花なれば、藥服すべし

〔原文〕丹花齏而不堪飡

〔訓読〕丹花は齏ふしめ飡するに堪えず

〔原文〕又白湯煮食

〔訓読〕又白湯に煮て食す

〔原文〕治肺臟壅熱

〔訓読〕肺臟の壅熱を治す

〔原文〕又笮痰定咳

〔訓読〕又た痰を笮（しず）め、咳を定む

〔原文〕効能不末

〔訓読〕効能末（あさか）らず

〔原文〕余艾而患咳

〔訓読〕余、患咳を艾（やしな）ふ

※訓読よくわかりません

〔原文〕澍砂糖密蜜

〔訓読〕砂糖の蜜を澍（そそ）ぎて

〔原文〕烹之爲果資

〔訓読〕之を煮て果資と爲す

〔原文〕不可捐也

〔訓読〕捐（す）つべからず